

## 15 生産目標

- (1) 若木（樹齢5年生以降）の段階から、一定の収量を見込むものとし、以後、成木（樹齢10年生以降）にかけて右肩上がりの収量が増加すると考えられる（表-16、図-111～112 参照）。
- (2) 成木（樹齢10年生以降）段階で、岡山1号では200kg/10a、岡山3号では150kg/10aとする。
- (3) 岡山1号は結実量が増加すると、果実が小さくなるのに対し、岡山3号は結実量の多寡に関係なく、果実の大きさはほとんどかわらない（図-113～114 参照）。
- (4) 成木以降、樹齢40年生まで、適正な管理を行っていけば、上記（2）の収量を維持できると考えられる（図-117～118 参照）。



図-109 樹齢13年生の実証園1  
(県森林研究所内)



図-110 樹齢12年生の実証園2  
(県森林研究所内)

表-16 年度別結実量の推移

植栽地	品 種	植栽年月 (年.月)	調査年度別結実量 (kg/10a)									
			2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
勝央町1	岡山1号	2005.4	68.7	201.8	182.8	220.7	234.7	272.8	335.8	256.0	288.1	344.2
勝央町2	岡山1号	2006.4		22.3	92.0	269.3	211.2	142.7	362.0	224.3	329.7	296.2
	岡山3号	2006.4		8.3	61.0	172.9	153.0	59.8	230.2	179.1	51.3	182.4

注. 森林研究所内実証展示園データによる

出典：西山（2018）

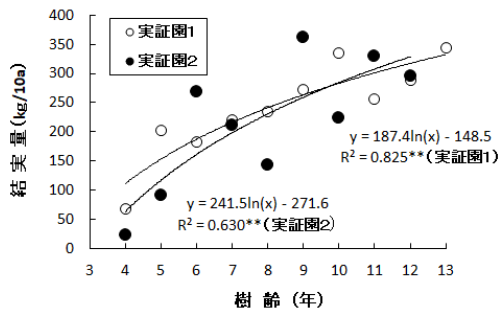


図-111 岡山1号の樹齢別結実量の推移

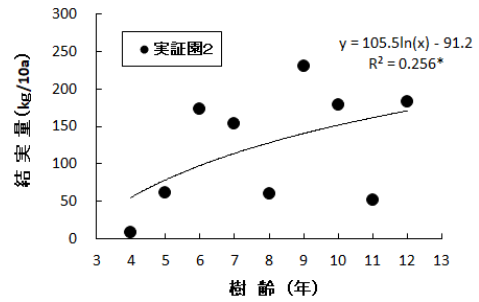


図-112 岡山3号の樹齢別結実量の推移

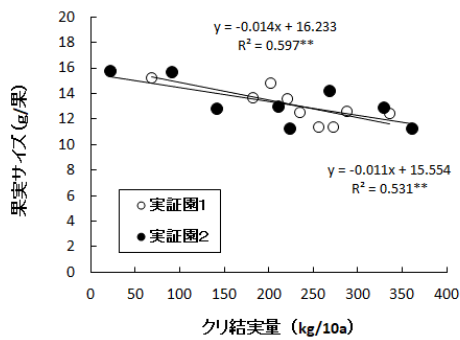


図-113 岡山1号の結実量と果実サイズの関係

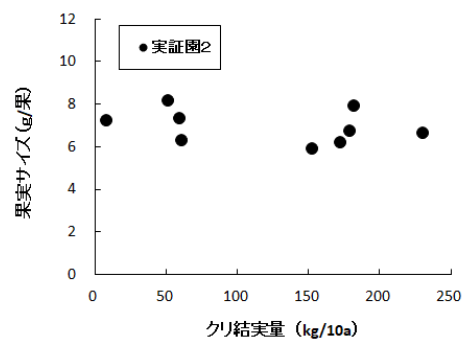


図-114 岡山3号の結実量と果実サイズの関係

出典：西山（2018）



図-115 樹齢33年生の岡山1号の母樹（県森林研究所内）



図-116 樹齢33年生の岡山3号の母樹（県森林研究所内）

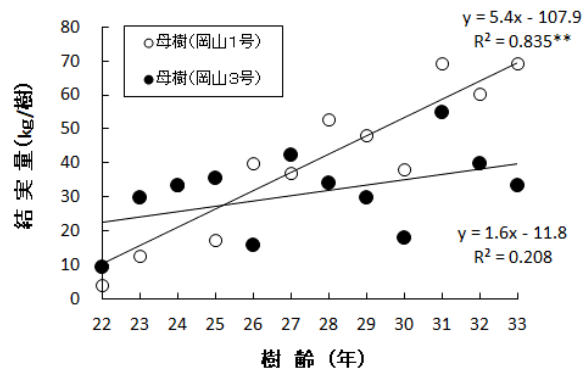


図-117 母樹における樹齢別結実量の推移

注: 母樹は実生育成によるものである

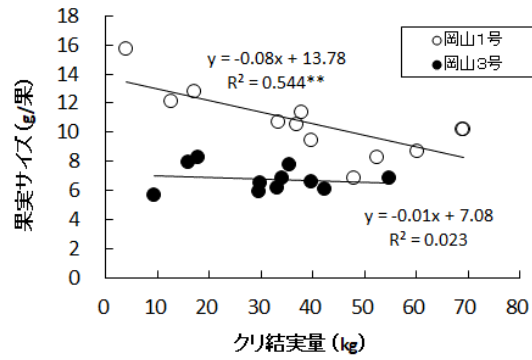


図-118 母樹における結実量と果実サイズの関係

出典: 西山 (2018)